本書について

しくみを理解してＶＬＯＯＫＵＰ関数を使いこなそう

エクセルの関数の中でも、とくに有名なのがＶＬＯＯＫＵＰ関数です。ビジネスの現場では利用頻度が抜群に高く、便利なことで知られています。使ったことはなくても、名前は聞いたことがあるのではないでしょうか。

ＶＬＯＯＫＵＰ関数を使ってみたいけれど、なんだか難しそう。そんなふうに思っている人も多いことでしょう。たしかに、関数の設定材料である「引数」は４つもあるし、それぞれの引数には守らなければいけないルールがあって、一筋縄ではいきません。また、本に書かれている通りに入力すれば、その場はなんとか指定できても、いざ応用しようとすると途端にわからなくなってしまうこともあります。

そこでこの本の出番です。ＶＬＯＯＫＵＰ関数を使いこなすためには、まず関数そのもののしくみを理解しましょう。そのうえで、ＶＬＯＯＫＵＰという関数が、どんなふうに情報を検索して結果を表示するのかをつかみましょう。

この本は、見ての通り「縦書き」です。従来のパソコン書は横書きですが、本書は、移動中の乗り物の中でも気軽に読んでもらえるように、あえて縦書きのスタイルにしました。また、横書きのパソコン本が操作の解説を中心とするのに対して、この本では、ＶＬＯＯＫＵＰ関数のしくみをわかりやすく解き明かすことに重点を置いています。

「１時間でわかる」というタイトルの示す通り、ＶＬＯＯＫＵＰ関数のしくみと知っておくべき最低限のルールを、短時間で理解することができるでしょう。

本書が、皆さんがＶＬＯＯＫＵＰ関数を使いこなすための一助となれば幸いです。

２０２２年１月　木村幸子

※本書はエクセル２０２１、２０１９、２０１６およびマイクロソフト３６５を対象としています。

Contents

Chapter 1
まずは関数の基礎を理解しよう

01 VLOOKUP関数はここがすごい …… 10
02 VLOOKUP関数のしくみはこうなっている …… 14
03 まずは関数の基本を理解する …… 18
04 関数の中身を見てみる～関数の成り立ち …… 24
05 関数にはさまざまな機能がある～関数の種類 …… 26
06 カッコの中にあるものは？～引数 …… 30
07 引数にはどんなデータが入るのか？ …… 34
08 セルを指定して関数を使う～セル参照 …… 38
Column 直接入力して範囲を修正する …… 44

Chapter 2
VLOOKUP関数の基本をマスターしよう

09 VLOOKUP関数のしくみをおさらいする …… 46
10 「商品検索表」を作ってVLOOKUP関数を使う …… 48
11 どんなデータを使って検索するか考える～検索値 …… 52
12 どの表からデータを検索するか決める～範囲 …… 56
13 知りたい値がある列を指定する～列番号 …… 62
14 「TRUE」と「FALSE」って何？～検索方法 …… 64
15 実際にVLOOKUP関数を入力してみる …… 70
Column 一覧表はこうあるべし …… 80

Contents

Chapter 3 VLOOKUP関数を使いこなそう

16 一度入力した関数を再利用する～関数のコピー …… 82
17 関数を次の行にコピーする …… 84
18 なぜコピーするとエラーが出るのか? …… 88
19 関数の難関「参照方式」を理解する …… 92
20 検索する範囲を固定する～絶対参照 …… 96
21 関数を隣の列にコピーするとどうなる? …… 102
22 列だけ固定して検索する …… 112
23 別のシートからでも検索できる …… 118
Column 形式を選択して貼り付ける …… 122

Chapter 4 即効解決Q&A

24 エラー値「#NAME?」が表示された …… 124
25 エラー値「#N/A」が表示された …… 126
26 間違ったデータが表示された …… 132
27 検索するデータに重複がある場合は? …… 136
28 「####」が表示された …… 140
29 エラーインジケーターって何? …… 142
30 引数に指定したセルを確認したい …… 146
31 式だけをコピーしたい …… 148
32 参照方式をすばやく切り替えたい …… 150
33 ほかのブックを参照したい …… 152
付録 XLOOKUP関数ってどんな関数? …… 155
索引 …… 159

Section 01

VLOOKUP関数はここがすごい

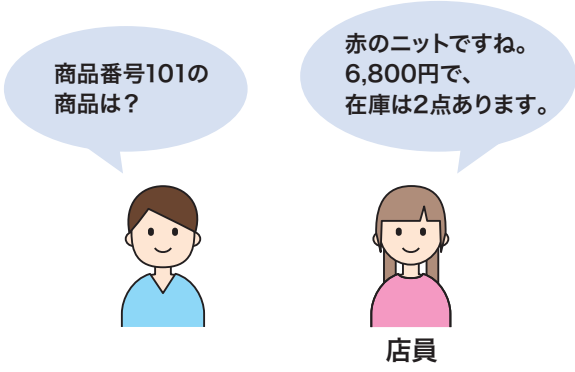
VLOOKUP関数の驚きの機能

エクセルには、実に300種類以上もの関数がある。その中でもVLOOKUP（ブイルックアップ）関数は、ビジネスシーンにおける活用度の高さという点では1，2を争う関数だ。では、そもそもVLOOKUP関数とは何をする関数なのか。

エクセルで注文書や売上記録を作る際、別シートに入力された商品のリストを見ながら商品単価や商品名を手作業で入力した経験はないだろうか。キーボードから手入力するのは時間もかかるし、第一入力ミスの心配もある。

そこで役立つのがVLOOKUP関数だ。VLOOKUP関数は、社員番号や商品番号などの「コード番号」を指示すると、それをもとに、一覧表から関連するデータを探して、セルにその内容を表示する働きを持つ。商品番号を告げただけで、その商品の情報を手際よく教えてくれるベテランの店員を想像するとわかりやすい。商品一覧表などの内容を、別の表に自動で転記したいときに役立つ関数なのだ。

VLOOKUP関数はベテランの店員？



関連のデータを
すぐに探してくれる

商品番号	商品名	単価	在庫数
101	ニット赤	6800	2
102	ニット黒	7200	1
103	シャツ	5800	3

One Point

VLOOKUP関数
コード番号から情報を検索・表示してくれる関数

Section 10

「商品検索表」を作ってVLOOKUP関数を使う

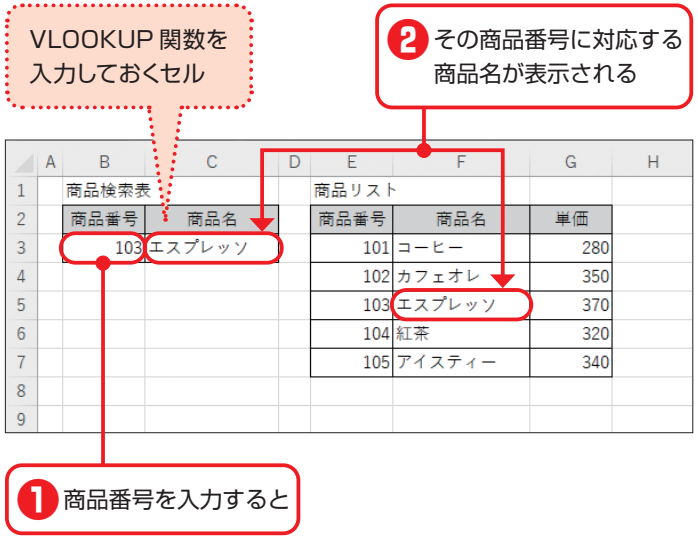
実際の表でVLOOKUP関数を使用する

この章では、VLOOKUP関数のしくみを理解するために、商品番号をもとに商品名を検索してセルに表示する「商品検索表」を作ってみよう。

左ページの例では、2つの表が用意されている。左が「商品検索表」だ。この表は「商品番号」と「商品名」の2つの欄で構成される。その右にあるのが、「商品リスト」で、これは、扱っている商品の情報をあらかじめ登録しておいた一覧表になる。「商品リスト」には、「商品番号」、「商品名」、「単価」の3つの列がある。

さて、「商品検索表」のB3セルに商品番号を入力すると、C3セルにその商品番号に該当する商品名が自動で表示されるようにしたい。そのためには、C3セルにVLOOKUP関数の式を入力しておく必要がある。では、C3セルに入力したVLOOKUP関数は、どのようにして商品番号から商品名を自動表示させるのだろうか。そのしくみについては、50ページで引き続き解説する。

「商品検索表」のしくみ



One Point

- 商品番号を入力すると、該当する商品名を自動で表示してくれる商品検索表を作る
- 商品名を表示したいセルには、VLOOKUP関数を入力する

Section 11

どんなデータを使って検索するか考える ～検索値

●どこに入力したデータを基準に検索するのか？

ここからはVLOOKUP関数のそれぞれの引数について個別に見ていこう。

まずは、最初の引数「検索値」だ。**「検索値」とは、別表からデータを検索する際にキーとなるコード番号のこと**だ。通常は、「103」のように数値を直接指定するのではなく、コードが入力されたセルを参照するように指定する。

VLOOKUP関数は、「検索値」に指定されたセルを見て、そこに入力されたコード番号を、用意された一覧表の中から探す。そして、見つかったら、そのコード番号が存在する行全体を取り出す。つまり、「検索値」の役割は、探したいコード番号が入力されている「行」を見つけ出すことなのだ。

左ページの図で確認しよう。「商品検索表」の「商品番号」にはコード番号が「103」と入力されている。VLOOKUP関数は、この「103」が「商品リスト」の中に存在するかどうかを検索する。すると「103」は、表の3行目にあるため、見つかった3行目全体を、次の作業の対象としてピックアップするわけだ。

「検索値」のコード番号を一覧表で探す

商品検索表

商品番号	商品名
103	エスプレッソ

商品リスト

商品番号	商品名	単価
101	コーヒー	280
102	カフェオレ	350
103	エスプレッソ	370
104	紅茶	320
105	アイスティー	340

「検索値」のコード番号が存在する行を一覧表から探す

Section 15

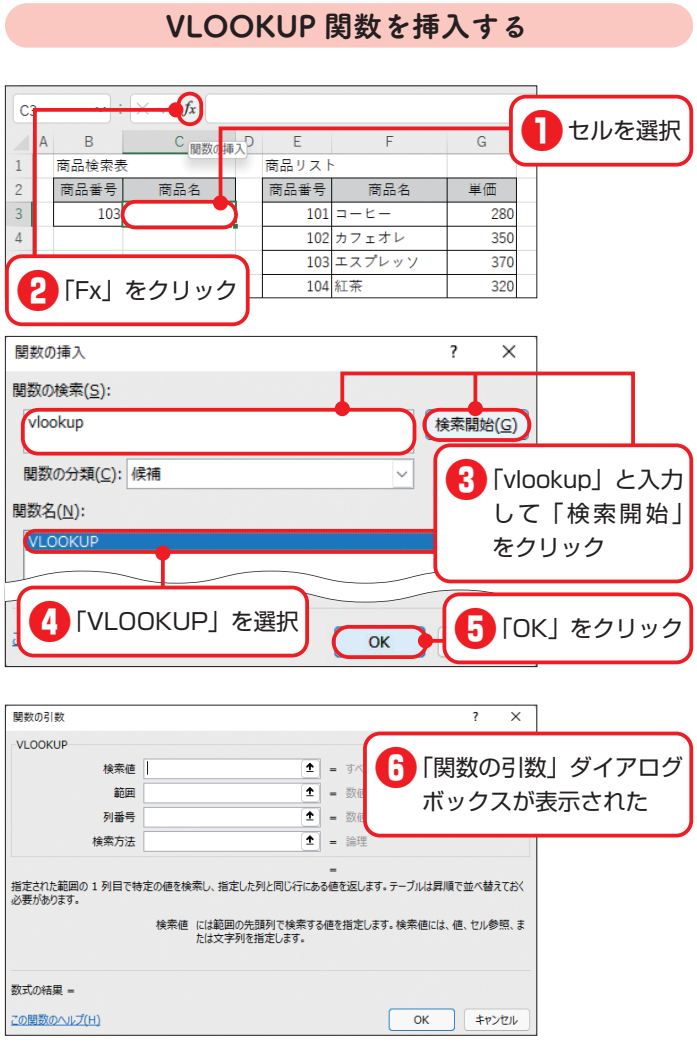
実際にVLOOKUP関数を入力してみる

VLOOKUP関数を挿入する

ここまでVLOOKUP関数の引数について、解説してきた。それでは、復習を兼ねて実践だ。「商品検索表」にVLOOKUP関数の式を挿入して、B3セルに指定された「商品番号」に対応する「商品名」を、「商品リスト」の中から検索してみよう。

まずは、VLOOKUP関数を挿入して商品名を表示させたいセル、つまりC3セルを選択する。次に、**数式バーの左にある「fx」ボタンをクリック**して、表示される「関数の挿入」ダイアログボックスで、VLOOKUP関数を検索しよう。

関数を検索する際、「関数の検索」欄に入力する関数の名前は、大文字・小文字どちらでかまわない。検索の結果、表示された「VLOOKUP」を選んで「OK」ボタンをクリックすると、今度は「関数の引数」ダイアログボックスが開く。このダイアログボックスは、選択した関数について、詳しい設定をするためのものだ。



Section 16

一度入力した関数を再利用する
～関数のコピー

●関数をコピーして複数の場所で利用する

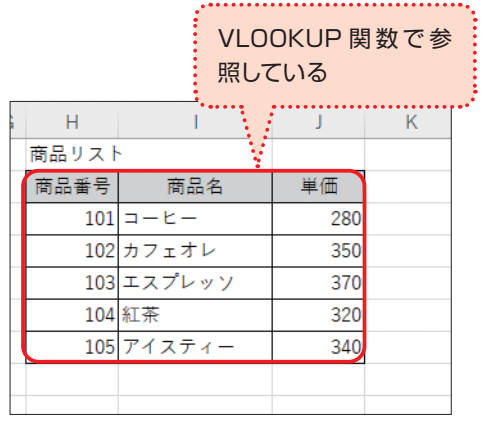
この章では、一度入力したVLOOKUP関数をコピーして、ほかのセルで再利用する方法をマスターしよう。

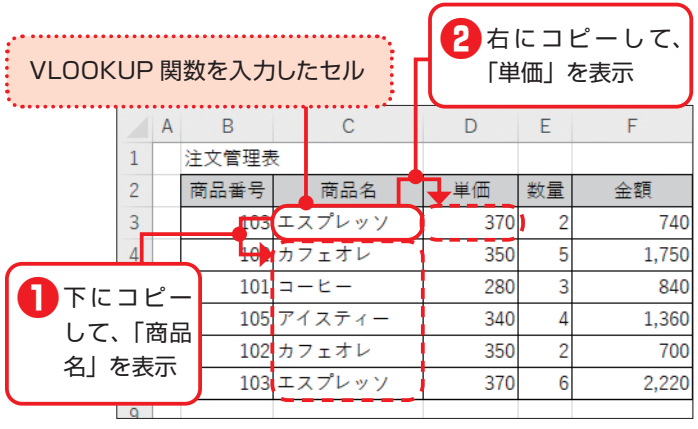
左ページの図を見てほしい。「注文管理表」に商品の注文データを入力する際、商品名や単価の情報を、下の「商品リスト」からVLOOKUP関数で参照させたい。

すでにC3セルにはVLOOKUP関数の式が入力されている。このC3セルを、まず下方向にコピーして、各商品の商品番号に対応する商品名をC4セルからC8セルの「商品名」の欄に表示する。次に、C3セルのVLOOKUP関数を右のD3セルへコピーして、D列の「単価」の欄にそれぞれの商品の単価を表示させたい。

このように書くとかんたんそうだが、実は、これが一筋縄ではいかないのだ。**VLOOKUP関数に挫折する人の半分は、このコピーの段階でつまずいてしまう**と書いても過言ではない。

そこで本章では、VLOOKUP関数のコピーのルールを、段階を追って解説しよう。





Section 24

エラー値「#NAME?」が表示された

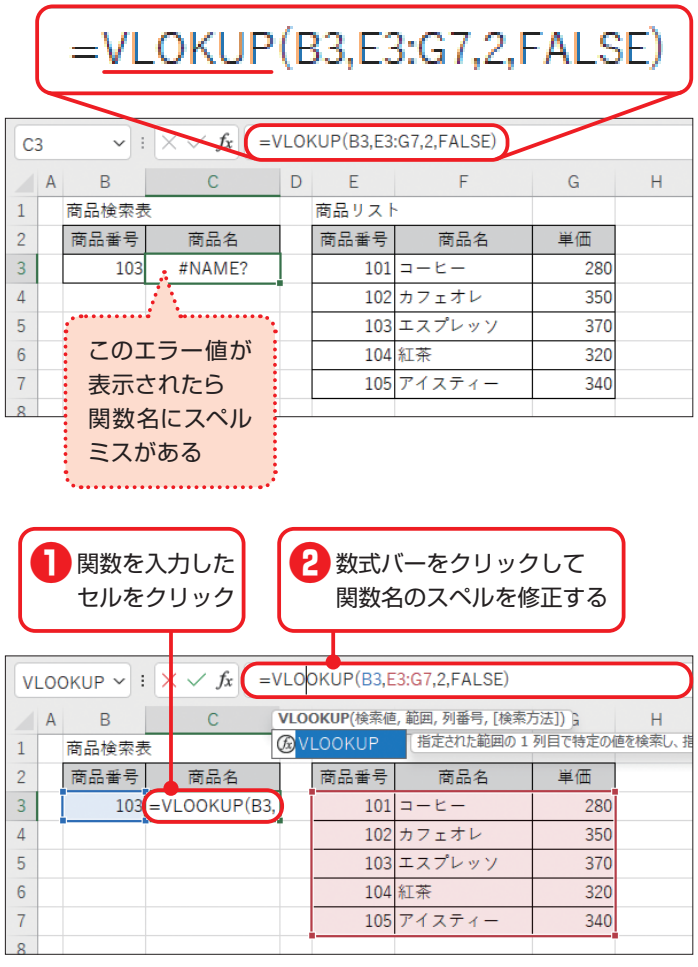
まずは関数名のつづりを確認する

この章では、日ごろVLOOKUP関数を利用する場面でありがちなトラブルとその解決方法を紹介する。同じような状況に見舞われたときの参考にしてほしい。

VLOOKUP関数を入力した直後、セルに「#NAME?」と表示されたことはないだろうか。これは、**関数の名前部分にスペルミスがあるときに表示されるエラー値**だ。関数名をよく見直して、正しく入力できているかどうかをまず確認しよう。このエラーは、直接、関数名を入力した場合や、数式バーを使って式の内容を編集した際に発生することが多い。左ページの例では、関数名「VLOOKUP」の「O」が1つ抜けてしまっているのが原因だ。

なお、修正には、数式バーを使うとかんたんだ。関数が入力されたセルをクリックして選ぶと、数式バーにその関数の式が表示される。続けて、数式バーの中をクリックするとカーソルが表示されるので、正しいスペルに修正しよう。

関数の名前が間違っている



XLOOKUP関数ってどんな関数？

マイクロソフト365やエクセル2021では、VLOOKUP関数の機能を拡張したXLOOKUP（エックスルックアップ）関数が新たに搭載された。これは、VLOOKUP関数と同様に、コード番号から一覧表の情報を検索できる関数だ。2016や2019では使えないが、VLOOKUP関数よりも指定が簡略化されて便利になっているので、紹介したい。

XLOOKUP関数は、下の例のように、6つの引数を持つ。これだけ見ると複雑そうだが、完全に一致するコード番号を検索する場合は、「検索値」、「検索範囲」、「戻り範囲」

XLOOKUP関数の引数

❶ ❷ ❸

＝XLOOKUP（検索値，検索範囲，戻り範囲，
見つからない場合，一致モード，検索モード）

❹ ❺ ❻

引数	指定内容
❶	情報の検索に使うコード番号
❷	一覧表の中で、コード番号が入力された列
❸	一覧表の中で、戻り値として表示したい内容が入力された列
❹	❶のコード番号が❷に存在しない場合の表示内容（省略可）
❺	完全に一致するコード番号だけを検索するかどうかを指定（完全一致の場合は省略可）
❻	❷でコード番号を検索する方向を指定（先頭から検索する場合は省略可）